

平成28年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（石川）

シンポジウム「女性獣医師の就業支援の取り組み」

平成28年度獣医療提供体制整備推進総合対策事業

*** 日本獣医師会における取り組み ***

栗本まさ子

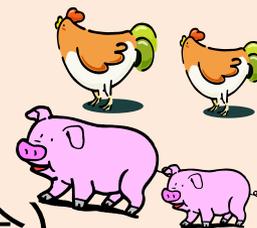
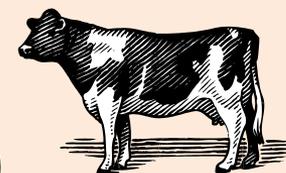
公益社団法人日本獣医師会
女性獣医師支援対策検討委員会

女性獣医師支援特別委員会

目的等：女性獣医師のキャリアアップ・就業継続支援

女性獣医師だけに着目せず「すべての獣医師が活躍しやすい環境づくりをめざそう」をコンセプトに、平成25年9月から検討を開始。

委員： 荒井 桂（オホーツク農業共済組合）
石田真知子（千葉県農業共済組合連合会）
嶋田直子（北海道函館市）
西木千絵（東京都八王子市）
三谷邦子（福岡県福岡市）
及川知子（横浜市健康福祉局）
木村哲子（東京都動物愛護相談センター）
前田育子（茨城県県西家畜保健衛生所）
稲垣靖子（神奈川県湘南家畜保健衛生所）
栗本まさ子（公益財団法人日本乳業技術協会）



注：所属は委員会開催当時のものです。

アンケート調査

○調査目的

女性獣医師の就業環境の実態を把握し、
就業支援のための基礎資料とする。

○実施期間 平成26年1月17日～2月16日

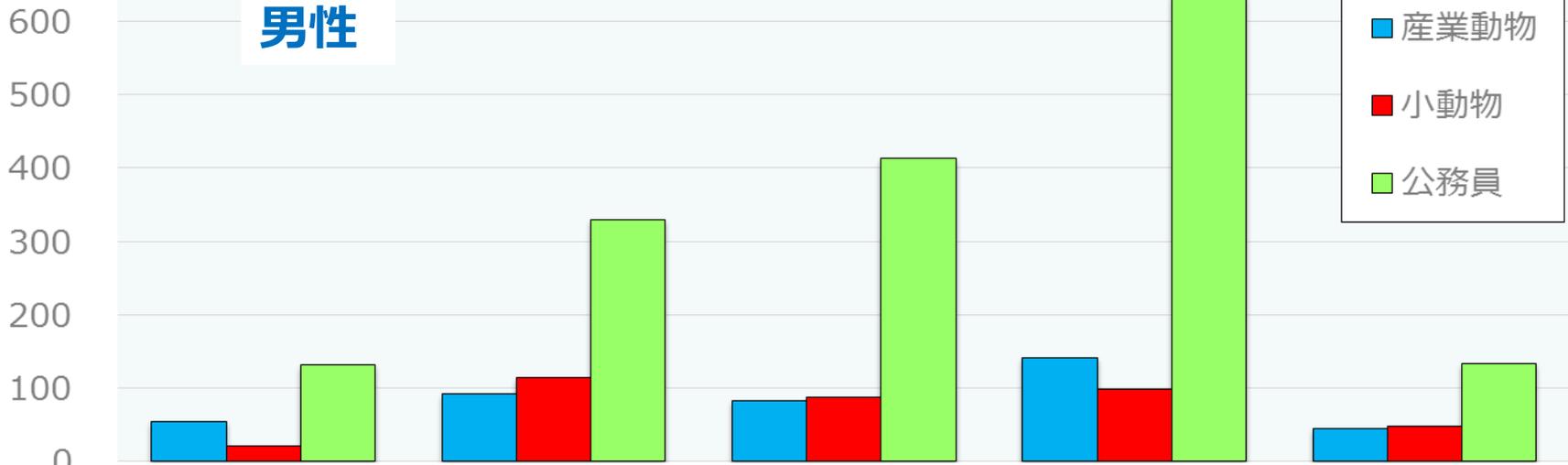
○実施方法 インターネットアンケート方式

○回答者 全国の調査協力獣医師 4,371名
男性2,923名 (67%)
女性1,429名 (33%)

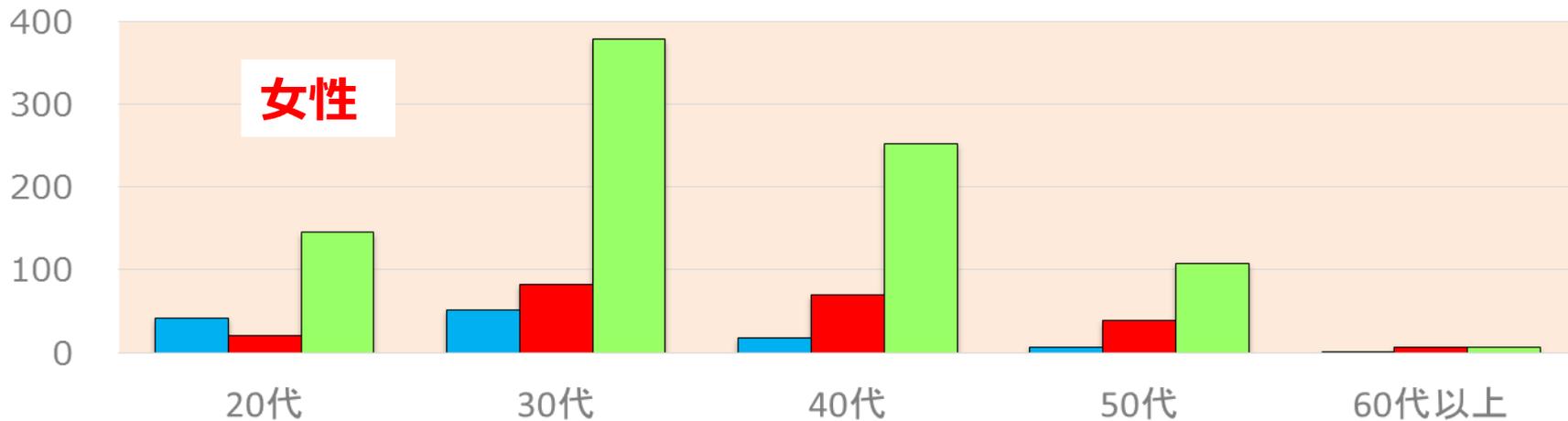
回答者の職域・年齢分布

人

男性



女性



アンケート調査の結果

○仕事上の不安や負担

・女性獣医師

妊娠中に仕事ができるか 育児と仕事が両立できるか

・男女共通

給料が安い・収入が少ない（公務員・20～30代）

休暇がとれない・労働時間が長い（小動物診療）

知識、経験の不足、技術的に自信がない（20～30代）

○女性の就業支援の実態（不十分との回答が多かったもの）

産休・育休中の代替獣医師の確保 休業中の情報提供

ロールモデルの紹介、スムーズな復帰のための研修

育児休業・子の看護休暇（小動物診療）

○女性の離職理由 離職経験者は27%

妊娠・出産 育児

アンケート調査の結果

1,960名からいただいた自由回答の分析結果

①多く使用されている単語を抽出して傾向を知る手法による分析

女性獣医師のライフステージの中で、出産と育児が大きなトピック。産休・育休を気兼ねなく取得できるよう代替獣医師の確保、短時間勤務の仕組みづくりが必要であるとの意見。

小動物診療分野に、職場環境の厳しさを感じている特徴。

②男性獣医師等の意見

女性獣医師が優遇され過ぎている、出産育児への配慮により、甘えが助長される、出産育児を経験していない女性との間に不公平感が出ている、といった意見。



平成27年5月「女性獣医師がより活躍できる環境づくりに向けて
—獣医師全体のワーク・ライフ・バランス改善のために—」

具体的なとりくみ等の提案

(1) 女性獣医師の活躍促進のための理解醸成

- * 獣医師・関係者全体の理解醸成
 - ・ 女性獣医師の活躍を促進することの意義
 - ・ 労働条件等の整備とその適切な運用の必要性
- * 小動物診療分野における就業環境改善
 - ・ 雇用者のコンプライアンス意識向上
 - ・ 労務管理セミナー、手引書の作成など
- * 獣医学生に対する就業教育
 - ・ 労働関係法令や給与・休暇・保険制度等に関する就業教育



具体的なとりくみ等の提案

(2) 仕事を続けやすい環境づくり



* 勤務形態の多様化の促進

短時間なら、職場が近くなら、仕事を続けたい。

⇒ ライフステージに応じて、

短時間勤務、ワークシェアリング等の多様な働き方で、
互いに助け合うことを提案

働く側と雇用者側の希望をマッチングさせるしくみが必要

* 出産・育児休暇が取りやすい環境の整備等

職場への支障・気兼ね等なく休暇を取得したい。

⇒「休暇中は代替獣医師が来てくれることがあたりまえ」に
することが重要

獣医師人材バンク（OBや再就職希望者など）、

地域密着型の求人サイトなど、求人と求職を結びつけるしくみが必要

具体的なとりくみ等の提案

(3) 復職しやすい環境づくり

離職による空白、技術や経験の不足、職場の情報がない等の不安

⇒ 仕事と子育てを両立しているロールモデルの紹介

アドバイザーや相談窓口の設置

再就職のための技術セミナー

インターネットを活用した情報提供

技術情報・求人情報

eラーニングなどの研修



情報プラットフォームの構築

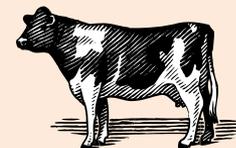


女性獣医師支援対策検討委員会 (職域総合部会個別委員会)

目的等：女性獣医師支援特別委員会による提案の実現のための検討やその実施による女性獣医師の就業支援。良質な獣医療提供体制の整備の推進。

平成27年11月設置

- 委員：市川陽一郎 (いちかわ動物病院院長)
梶木富美恵 (神奈川県食肉衛生検査所所長)
鎌田健義 (全国家畜衛生職員会会長)
酒井淳一 (岩手大学農学部FAMS客員教授)
白戸綾子 (独立行政法人 家畜改良センター個体識別部長)
田中公子 (動物検疫所神戸支所次長)
田中美貴 (埼玉県川越農林振興センター担当部長)
額田聡子 (千葉県農業共済組合連合会東部家畜診療所係長)
早矢仕裕子 (全国公衆衛生獣医師協議会事務局長)
福原美千加 (みかん動物病院院長)
栗本まさ子 (公益財団法人日本乳業技術協会)



具体的な女性獣医師支援の取組み

* シンポジウムの開催

* 平成27年2月

シンポジウム「すべての獣医師がより活躍できる環境づくりに向けてー女性獣医師の就業現場からー」（岡山）

産業動物臨床、小動物臨床、公務員の現状・課題の紹介の後、総合討論

* 平成28年2月

シンポジウム「女性獣医師の就業継続とキャリアアップをめざしてー支援のためのプラットフォームの構築」（秋田）

女性獣医師をめぐる情勢、
女性医師支援の取組み、
育児休業制度等支援策の
紹介等の後、総合討論

* 本日



第4次男女共同参画基本計画

(平成27年12月25日閣議決定)

男女共同参画社会基本法に基づき、施策の総合的かつ計画的推進を図るため
5年ごとに策定

第1部 基本的な方針

…

女性も男性も全ての個人が、互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる**男女共同参画社会の実現は**、少子高齢化が進み、人口減少社会に突入した我が国社会にとって、社会の多様性と活力を高め、我が国経済が力強く発展していく観点や、男女間の実質的な機会の平等を担保する観点から極めて重要であり、**社会全体で取り組むべき最重要課題である。**

…我が国社会の現状を見ると、…様々な側面からの課題が存在しており、世代を超えた男女の理解の下、それらを解決していくため真に実効性のある取組が求められている。…

第4次男女共同参画基本計画

(平成27年12月25日閣議決定)

男女共同参画社会基本法に基づき、施策の総合的かつ計画的推進を図るため
5年ごとに策定

4次計画で改めて強調している視点

<あらゆる分野における女性の活躍>

(1)女性の活躍推進のためにも男性の働き方・暮らし方の見直しが欠かせないことから、**男性中心型労働慣行**等を**変革**し、職場・地域・家庭等あらゆる場面における施策を充実させる。

(2)あらゆる分野において女性の参画が拡大することは、社会の多様性と活力を高め我が国経済が力強く発展していく観点や、男女間の実質的な機会の平等を担保する観点から極めて重要であることから、女性活躍推進法の着実な施行とともに、更に踏み込んだポジティブ・アクションの実行等を通じた積極的な女性採用・登用のための取組や、将来指導的地位へ成長していく人材の層を厚くするための取り組みを進める。

<安全・安心な暮らしの実現>

<男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備>

<推進体制の整備・強化>

第4次男女共同参画基本計画

(平成27年12月25日閣議決定)

男女共同参画社会基本法に基づき、施策の総合的かつ計画的推進を図るため
5年ごとに策定

第2部 施策の基本的方向と具体的な取組

I あらゆる分野における女性の活躍

第一分野 男性中心型労働慣行等の変革と女性の活躍

<基本的考え方>

…我が国において女性の活躍を阻害している要因には、高度経済成長期を通じて形成されてきた固定的な性別役割分担意識、性差に関する偏見や様々な社会制度・慣行があると考えられる。

…勤続年数を重視しがちな年功的な処遇の下、長時間勤務や転勤が当然とされている男性中心の働き方を前提とする労働慣行（以下「男性中心型労働慣行」という。）が依然として根付いており、育児・介護等と両立しつつ能力を発揮して働きたい女性が思うように活躍できない背景となっている。

…男性中心型労働慣行等を見直すことによって、女性の活躍を推進していくことを目指す。（＝調和がとれた男女が共に暮らしやすい社会の実現を目指す。）

ご存知ですか？

* 労働基準法（母性保護）

→産前産後休業、危険有害業務の就業制限等

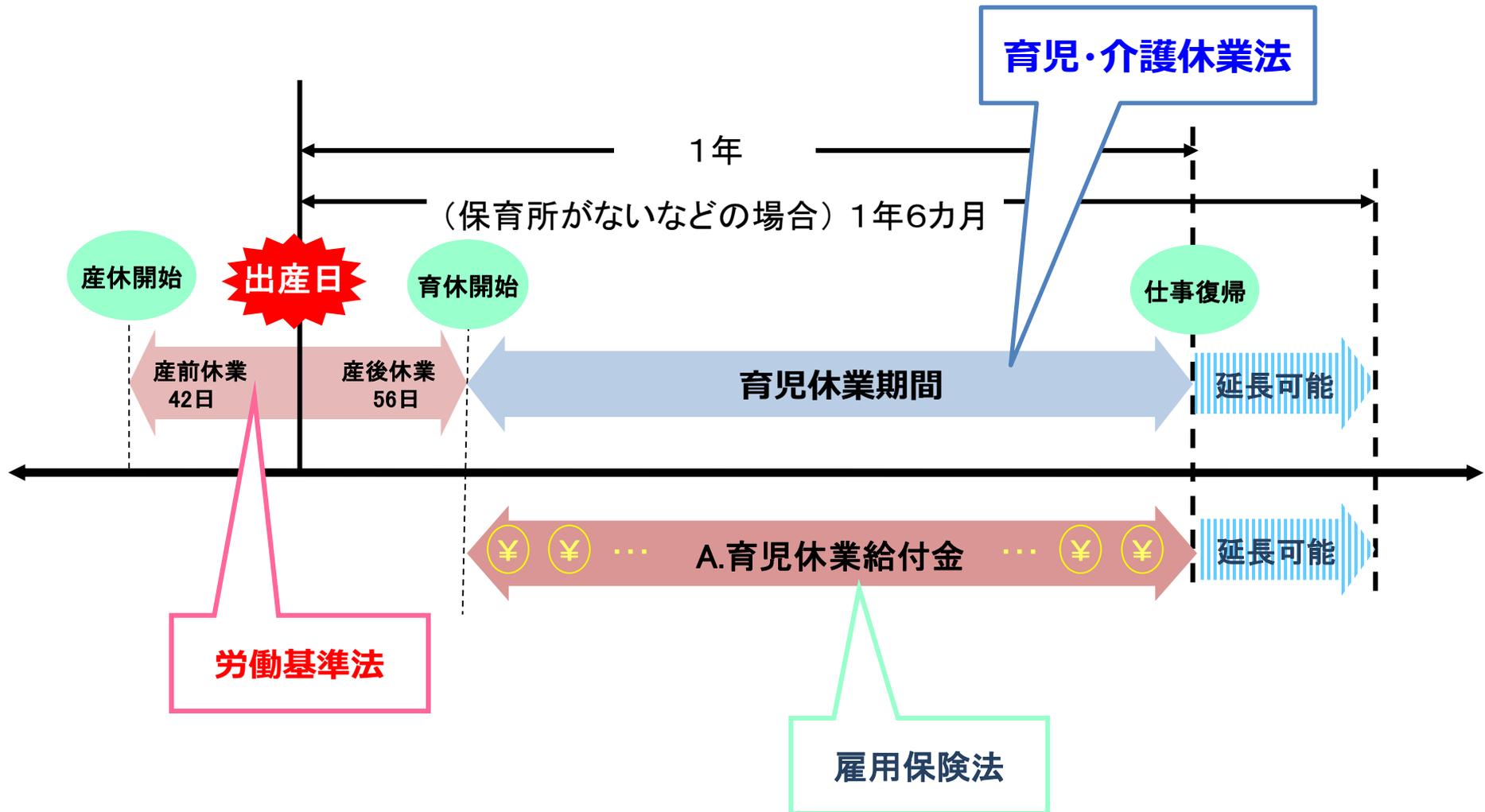
* 男女雇用機会均等法（母性の健康管理）

→妊産婦の時間外労働の制限、健康診査受診のための時間の確保等

* 育児・介護休業法（仕事との両立支援）

...

出産・育児のための制度



具体的な女性獣医師支援の取組み

- * 獣医学生向けセミナーの開催：平成27年度 7大学
28年度 13大学

女性性獣医師の就業を支援するための獣医学生向け
セミナー

公務員女性獣医師の
就業現場の現状と今後



茨城県畜産センター養豚研究所
前田 育子

家畜保健衛生所の業務(2)

➤ 家畜伝染病の発生時の防疫対応

平成17年茨城県で発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫対応



自衛隊への災害派遣要請 平成17年9月12日～30日

延べ人員 2,098名

派遣農場 KO農場 KG農場

処分羽数 約44万羽

茨城県職員子育て応援プラン

仕事と子育ての両立のための取り組み(1)

妊娠から出産まで

- 😊 妊娠女子職員の通勤混雑緩和休暇(特別休暇・有給):
1日1時間
- 😊 妊娠女子職員の休養・捕食休暇(特別休暇・有給):
その都度必要と認める時間
- 😊 つわり休暇(特別休暇・有給):14日以内

妊娠から産後1年まで

- 😊 妊娠女子職員の保健指導・健康診査休暇(特別休暇・有給):1~4週に1回
- 😊 産前産後休暇(特別休暇・有給):産前8週,産後8週

茨城県職員子育て応援プラン

仕事と子育ての両立のための取り組み(2)

子が3歳に達するまで

☺ 育児休業(無給)

子が小学校就学の始期に達するまで

☺ 部分休業(減額):1日2時間まで

☺ 育児短時間勤務(減額):勤務時間の短縮

☺ 時差出勤制度:始業・就業時間の変更

子が1歳6月に達するまで

☺ 育児時間休暇(特別休暇・有給):1日2時間を以内

子が中学校修学の始期に達するまで

☺ 子の看護休暇(特別休暇・有給):1年に5日

牛の採血



HAL単関節用



社会に対しての発信



2015/01/16

具体的な女性獣医師支援の取組み

- * 獣医学生向けセミナーの開催：平成27年度 7大学
28年度 13大学

NOSA | オホーツクにおける現状

オホーツク農業共済組合
大空支所女満別家畜診療所
荒井 桂

帝王切開手術～準備～





私たちは 仕事も子育ても



具体的な女性獣医師支援の取組み

* 情報プラットフォームの構築

女性獣医師応援ポータルサイト

● 日本獣医師会とは ● サイトマップ ● お問い合わせ 文字サイズ 標準 拡大

女性獣医師の「いきいきと働く」を応援します！

また働きたい！
キャリアアップしたい！
獣医師になりたい！
家庭と両立したい！

現在働いている方 →

再就職を考えている方 →

学生の方 →

いきいきと輝きながら活躍する
女性獣医師をご紹介します

ロールモデル一覧はこちら →

ロールモデル
Role models

新着情報一覧

- | | |
|------------|--------------------|
| 2016.02.25 | セミナー情報を追加いたしました。 |
| 2016.02.24 | ロールモデルを追加いたしました。 |
| 2016.02.24 | eラーニング動画を追加いたしました。 |
| 2016.02.24 | ロールモデルを追加いたしました。 |

女性獣医師
応援
ポータルサイトとは？



女性獣医師応援ポータルサイト

女性獣医師応援ポータルサイトは、女性獣医師の活躍を支援するために有用と思われる幅広い情報（研修関係情報、ロールモデルの紹介、求人情報、e-ラーニング教材等）を一元的に提供する情報プラットフォームです。男性獣医師にも見ていただきたいサイトです。

(<http://www.nichiju-shien.com/>)

女性獣医師応援ポータルサイト

●日本獣医師会とは ●サイトマップ ●お問い合わせ 文字サイズ 小 中 大

女性獣医師応援ポータルサイトとは 現在働いている方へ 再就職を考えている方へ 学生の方へ ロールモデル eラーニング セミナー

トップページ > ロールモデル一覧

いきいきと輝きながら活躍する女性獣医師をご紹介
ロールモデル

ロールモデル一覧 産業動物診療獣医師 家庭動物診療獣医師 公務員獣医師 企業・団体

産業動物

畜産農家さんと信頼関係を持つことが出来た時が私たちの仕事が認められたときだと思っています



詳細を見る →

茨城県畜産センター
養豚研究所飼養技術研究室
前田 育子さん

家庭動物

自分の仕事が、都民の健康の維持向上に直接結びついていることに責任とやりがいを感じています



詳細を見る →

東京都福祉保健局
健康安全部食品監視課食鳥検査担当
早矢仕 裕子さん

産業動物

自分の仕事が、都民の健康の維持向上に直接結びついていることに責任とやりがいを感じています



詳細を見る →

東京都福祉保健局
健康安全部食品監視課食鳥検査担当
早矢仕 裕子さん

公務員

企業・団体

自分の仕事が、都民の健康の維持向上に直接結びついていることに責任とやりがいを感じています



詳細を見る →

東京都福祉保健局
健康安全部食品監視課食鳥検査担当
早矢仕 裕子さん

是非、開いてみてください！そしてご意見をお寄せください。

コンテンツ

- e-ラーニング
- ロールモデル
- セミナー・研修情報
- 人材募集リンク など

具体的な女性獣医師支援の取組み

* 女性獣医師就業支援研修

* 地方獣医師会へのアンケートの実施

問1 女性獣医師支援の取組みを行っていますか？

行っている 13 (23.6%)

委員会等を設置して検討 4

復職等のための情報提供 3

会費の減免制度 3

代替獣医師確保のための人材バンクの設置 2

その他（セミナーの開催、会費の減免措置等） 8

具体的な女性獣医師支援の取組み

* 地方獣医師会へのアンケートの実施（続き）

問2 女性役員の数を増やすための検討を行っていますか？

行っている 6

積極的に行っていく予定 1

平成28年度 地方獣医師会の女性役員

理事がいる 23（うち 2名いる5、女性副会長がいる1）

監事がいる 2

役員総数 958名中32名が女性（3%）

問3 ご意見等

具体的な対策、対応事例の紹介を希望 等

女性獣医師がより活躍できる環境の実現に向けて

女性獣医師が、出産、育児等を経験しつつキャリアアップもし、
自信と誇りをもって生き生きと活躍を続けられる環境は、
男性も女性もすべての獣医師が活躍しやすい環境



より良い獣医療の提供
獣医師の社会的地位の向上

女性獣医師支援プラットフォームの充実

⇒各職域の事情に合わせた内容、
地方獣医師会の取組みの紹介等
広くお知らせし、活用しやすいように





ご清聴ありがとうございました。